

はまだっこ

<http://www.yokkaichi.ed.jp/hamada/>

よつかいちしりつはまだしょうがっこう
四日市市立浜田小学校

令和 4年 2月 15日 (火)



No.53

がっこうひょうか 学校評価アンケートの考察をお伝えします。(保護者様・子どもたちの記述に対して)

今年度も、こうしたら学校がより良くなるのではないかとというご意見を記述でたくさんいただきました。タブレットに関するご意見だけは以前学校だよりNo.48で先に学校側の考えをお伝えさせていただきましたので、その部分を除いて、学校側の考えをお伝えします。

また、お子様のお名前をアンケート時に入力いただいた方からのご意見で、回答に当たる部分を既に担任からお伝えさせていただいた方のご意見や、既に改善が進んでいる事柄、ご意見がお子様個人や担任個人の課題である事柄については、回答を省略させていただいたものもあります。

以下に学校側の回答を学校づくりビジョンの内容に合わせてお示しさせていただきます。ルビを振りますと、ページが2倍近くになるため、ルビは省略させていただきます。なお、ご意見の前についている番号は、学校づくり説明会冊子のP4・P5の具体的方策に通し番号を付けた時の番号になっています。

【支え合う仲間がいる学校づくり】(授業づくりは仲間づくり①～③)

(居心地のよい学校・学年・学級づくり④～⑧)

ご意見	学校側の回答
①委員会の役目や行事での係等、責任のある仕事を任されるようになってきたなあと感じる中で、毎日の子どもの話から10分前行動、提出期限を守る等担任の先生をはじめ関わりのある先生方が熱心に指導してくださっているのがよく伝わってきます。それと同時に先生がご自身の失敗談や学生時代の話などをたくさん話してくださっているようで、それを参考にしながら子どもが失敗を恐れず安心してチャレンジできている様子が伝わってきます。学年が上がり思春期にも突入している中で、友達や先生方に支えられて楽しく登校できていることに大変感謝しています。今後ともよろしくをお願いします。 	教職員は一人一人持ち味を持っています。評価いただいている担任は、その持ち味を生かして、子どもたちに寄り添う気持ちを大切にしている教職員だと思います。私自身も小学生の時は勉強がとても苦手で、1年生の時は夏休みまでにひらがな50音が書けませんでした。夏休みに兄が教えてくれたことを今でも覚えていて、文字が覚えにくい子の気持ち、一生懸命やっても結果が伴わない子の気持ちがよくわかります。それでも、私の両親はできることに目を向けてくれる人でしたから、勉強ができなくても学校が嫌いになることはありませんでした。また、わざとではなくても友だちにけがをさせてしまった時も、父と一緒にその子の家に行って、謝ってくれたことも覚えています。関わる大人の姿勢が子どもたちの成長に影響することを私は両親から教わり、子どもたちにもよくこの話をします。子どもたちに寄り添うことの大切さを、教職員で改めて共有させていただきました。
①高学年になり、学習面だけでなく友人関係など心配な事もありましたが、毎日楽しく通学しています。苦手な事がある日でも、休みたくない！と言って登校できるのは、担任の先生をはじめチーム浜田の先生方に温かく見守って頂けているからだ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。	そうやって苦手なことからも逃げない、苦手なことがあるからこそ、学校を休まないと思ってくださっていることが、本当に嬉しいです。下級生へのよいお手本になる存在だと思います。教職員もこうして頑張ってもらえると、期待に応えようと意欲が湧いてきます。ありがとうございます。
①「自分でこの問題が解けた」という自信の積み重ねがさらに次の意欲につながると感じます。先生からほめてもらうことも、子ども達にとってうれしい出来事ではないでしょうか。そういった体験がたくさんできるような環境を作って頂ければ、うれしく思います。	その通りです。私たちは褒める時も、褒められる理由をきちんとわかるようにして、みんなの前でその理由を確かめながら褒めることを大切にしています。そうしたことを忘れずに努力している先生の学級は、子どもたち同士でいいところに気づくことができるようになります。
①特にありませんが、学ぶことが楽しいというのは自分の考え方や答えが間違っても認めてもらえて、努力を褒めてもらえたら、やる気も出て楽しいのかなと感じております。でも充分それしてもらえていると思うので特にはありません。	お子様の姿からそのように感じていただいていること、とても嬉しいお話です。ありがとうございます。

ご意見	学校側の回答
①テストの点数や持久走大会の順位等については他の子との差をつける為ではなく個人個人の理解度や達成度を計るうえで大切だということを前提にしながら、良い結果を出した子等には、みんなの前でもう少し称えてあげてもいいのではないのでしょうか。それが本人のやる気や頑張り、周りへの触発にもつながるのではと思います。	子どもたちのモチベーション（やる気）を上げるために、相対評価となる順位でその頑張りを称える方法は、今でもあります。本人のやる気や頑張り、周りへの誘発につながることや、現実社会がそうなっているということについても、理解しています。しかし、「わかりました。」とは回答ができません。私たち教職員は、一人一人のお子様をその時その時にきちんと個別に評価することで、お家の方の期待に応えなければならないと考えています。一旦、順位付け・表彰などの方法に頼って評価を始めると、順位や結果には表れないお子様一人一人の頑張りに対する評価に目が向かなくなってしまうがちです。お子様一人一人のやる気をどうすれば高めていく事ができるか、そちらを今まで以上に真剣に考えていくことに、力を注ぎたいと思います。
①ゆとり学習で色々なことに順位をつけたり優劣を競うことを排除したりする方向にあるのは周知ですが、学生時代後の社会人生活では、世の中、順位や優劣での評価は多く目にすると思う。その上で持久走記録会を例に取っても表彰して頑張りをお評価してあげて欲しい。モチベーションや子どもの伸び代アップ、やる気に繋がる絶好の機会を奪ってしまうのは勿体ないことだと強く思う。	
②子どもから先生に質問をしても、「さあ、どうだろうね」などと回答をいただけないことが何度もありました。その場で答えられないなら、確認して返事をする、など対応を変えてほしいです。	ご意見は教職員全員で共有しました。ご指摘いただいたような姿勢を全職員が持てるように、そして、教職員間でも大切なことを後回しにしている教職員がいたら、互いに助け合い、時には指摘もし合える教職員集団にしていきます。
②子どもから聞いた話ですが、あまりにも、言葉足らずな点があるように思います。もう少し生徒と向き合ってあげて欲しい。子どもたちに伝わっていないことが多いように思います。自分たちで考えることも重要ですが、時と場合によっては、先生からの声かけも必要。	お子様が納得をしていないという事がありましたら、もう一度お子様からでも結構ですし、保護者の方からでも結構ですので、担任に戻してやってください。
②先日の学校公開日に〇年生の体育で、跳び箱の授業を拝見したのですが、運動の出来る子たち以外はひたすら、跳び箱にまたがり楽しくなさそうにしているのが気になりました。跳べない子ども達には、別の形で楽しめる内容の指導があると良かったです。	跳び箱はやはり跳べた時のあの満足感があるからこそ、もう一段高い段に挑戦をするという意欲が湧くものです。その学年・学級の問題とせず、跳べない子にはどんな練習の方法があるのか、校内の職員研修でも取り上げていきます。教えていただきありがとうございます。
④「心の計算ができる子」というスローガンがとても素晴らしいと感じます。大人になってからの方が、皆この気持ちを忘れてしまったのではないかと感じる人が多いです。浜田小学校の卒業生が大人になっても「心の計算」を意識して生活できるように、是非機会がある毎に、うるさいな～と思われる位、言葉にして伝え続けていただければと思います。もちろん自宅でも言葉にして伝えていきたいと思います。	この「心の計算ができる子」ということについては、子どもたちの心に結構響いていると実感をしています。また、「できるよ。」「前よりできるようになってきた。」と言える子が、確実に増えてきています。特に、声を「かける」が、できるようになってきた子が増えていると感じています。次年度4月に新しく浜田小学校へ赴任してくる教職員に「はまだっこは、自分から挨拶ができる子どもたちです。」「心の計算を大切にできる子どもたちです。」と、伝えていけるようにしたいと思っています。
④校長先生にも、とてもお世話になっております。毎年嬉しそうにスイカの話をしてくれました。浜田小学校は、校長先生はじめ、先生方皆さまの温かい気持ちが、いろんなところで感じられる学校です。持久走の日も、役員で準備をしていたら、挨拶してくれる子やお礼を言ってくれる子がいて、すごいなあと思いました。	お家の方に、子どもたちがお礼の気持ちを挨拶や言葉で伝えられていると教えていただき、嬉しいです。子どもたちも自信がつくと思います。ありがとうございます。 
④これからも友達や仲間を大切に、学校生活が楽しいと思える学校づくりをお願いします。	ここにいただいたご意見の通りだと思います。100点満点とは言えないところもありますが、浜田小学校ってどんな学校と聞かれたとき、心から「仲間を大切にできる学校」「困っていると誰かが助けてくれる学校」と言えるようにしていきたいです。
④楽しい学校にする。	
④色んな場所、物事で、皆が助け合い出来たりすると安心します。	
⑦いつも学校の先生をはじめ、日々変わっていく状況の中で、よく子ども達を教育していただけていると思います。人と違っていても多様性も認めること、人には得意不得意があるということを前提に皆でどうすれば目的を達成できるかベストを考えること、悩みがあったら相談できる環境があることなど大切なことをこれからもご指導いただきたいです。愛知県で中学生が刺殺する事件がありましたが、コロナ禍で抑鬱状態の子もいると思いますが、これからも一人一人を見守っていただきたいです。	

ご意見	学校側の回答
⑦先日、隣の県で中学生の悲しい殺傷事件がありました。報道をみていると、関係性に問題はなかった等発表した後、学校が把握していた事実が徐々に明るみに出てくるといった保護者側からすると憤りを感じる事態を目の当たりにしました。学校隠ぺいが、学校あるあるになりつつあるのではないかと非常に不安に思います。保護者は、学校、先生方を信頼し大切な子どもの指導をお願いしています。先生方も「今どきの子ども」に対する指導方針や心のケアにはより一層頭を悩まされているかとは思いますが、今一度、見えづらい、隠れた部分に目をむける意識を持ってほしいと思います。昭和、平成ではないのです。成長過程だから仕方がないとか、うちの子ヤンチャだから、ということで見過ごしてはいけない時代なのかもしれません。親自身も昔とは子育て意識にかなり温度差があり、感覚も異なります。特に浜田小は少ない人数で港中学校へもちあがりになります。きっと、より深い絆ができる強みもある反面、そうでない場合は小学校からの関係を改善する機会（他校との環境交流）もないまま思春期をむかえるのです。親しいお友達には、未解決のままのモヤモヤ関係の事件もあり、息子とも、やはり小さいながらも問題があります。そのたびに、あの時分かりあえてないから、未解決だから、と頭をよぎります。すべての保護者とわかり合えるとは思いますが、・・・ずっと不安ですね。だからこそ、どんな小さなことも見逃さず、納得感のある解決へ導いてほしいです。そして、特にこれからまだ改善の余地のある子どもには「常識」を学ばせてほしいです。この先の中学校で悲しい事件がおこらないように港中学校まで続く環境を視野に入れていただきながら、浜田小の先生方には子どもへの指導をお願いしたいと思います。 ➢他県・他校の出来事は言え、辛い思いを抱きながら報道から情報を得て、本校あるいは卒業生の間で同じようなことが起こるような芽はないのかと、全教職員で振り返っていました。いじめアンケートも「0」ではありませんし、以前起こったことでもまだその時のわだかまりを引きずっていて、今の担任の先生と話をしている子もいます。将来を見据えた形で対応して欲しいというお気持ちは、おっしゃられる通りだと思います。保護者の皆様のお力もお貸しください。	
⑧花壇を平気で荒らしたり、図書室の本に落書きをするような人、平気で遅刻してくる（又は現れない）登校班の班長（自分がオンタイムで来たときはその他メンバーをおいて出発する）、登校班に全くついて来ない一年生……学校側が何か出来るわけではないのかもしれないが、直接的にも間接的にも迷惑していたり悪影響を受けることになる。そういう子ども達を見ると残念でならないし、その子どもの事も自分の子どもの事も心配です。 	学校づくりビジョンの具体的取組の中に「ありのままの子どもたちの姿を伝えます。」とあります。その意味では、よくない姿もきとんと伝わり、一緒に考えていただいていると感じました。もちろん、お伝えするだけが目的ではありません。お伝えすることで「私たちは知っている。」というメッセージを子どもたちにも伝えること、それを私たちは解決していきたいと思っていること、何より子どもたち自身が気を付けて、万が一そういった姿をみかけたら、注意ができる仲間に育ってほしいと願ってお伝えしています。解決に向けて、保護者の皆様からお子様にも声をかけてあげてください。
⑨学校通信（はまだっこ）の文章が長いので、要点をまとめて書いてほしいです。日頃の様子についてはHP、大事なことのみの紙、など使い分けてほしいです。印刷時間、印刷コストも効率化できると思います。	文章力がないことを反省しています。申し訳ありません。ただ、全てのご家庭でHPが見られる環境が整っているわけではないので、使い分けの難しさがあることは、ご理解いただけると助かります。
⑩学級だよりを豆に発行して頂いているので、クラスのことが分かり、毎回楽しみに読ませて頂いています。引き続きお願いします。	
⑪普段の授業風景を動画配信していただけたら良いと思います。	
⑫コロナ禍の中、子どもから学校の話聞いてもあまり教えてもらえなく、学校の様子など見られる機会が少なくなっており、今回はわからないが多くなってしまいました。	
⑬コロナ禍の中、先生方には工夫していただき行事や参観日など設けて頂き感謝しております。子どもは話が拙く、内容が分からない事も多いため、こまめに学校だよりや学年学級通信で様子を教えて頂けて助かりました。	
⑭はまだっこや学級通信を読むのをいつも楽しみにしています。コロナに関する情報や対策を熱心に発信していただき、今できる最大限のことを実現しようと頑張ってくださいの様子がとてもよく伝わってきます。2年生は入学当初から続く長いマスク生活の中で、親としては子どもたちの表情やクラスや学年の雰囲気を感じ取りにくく感じています。そんな中、お便りで紹介される良い話題にほっこりし、一方では本への落書きやいたずら、各学年が抱える課題等の記事には読みながらビックリもしました。ですが、子どもたちが過ごす学校でどんなことが起こっているのか、きちんと課題を伝えてくださるお便りに先生方が子どもたちを良い方向へ導こうと一生懸命考えてくださっている様子が伝わってきました。いつも熱心に取り組んでいただきありがとうございます。お便りを通して親子で色んなことを話し合う時間をしっかり持ちたいと思います。	
⑮入学してから約2年、毎日生き生きと楽しそうに登校して、帰宅後も学校での話を、目を輝かせて話してくれています。夏休みのオンライン授業では精神的に疲れが見られましたが、学校が始まってからは友だちや先生との関わり合いに心が満たされているように感じます。担任の先生のこともすごく信頼していることが、子どもの話の端々から伝わってきます。学年だより、クラスだより、はまだっこでも詳しく学校の様子を教えてくださいありがとうございます。授業もわかりやすいようで、家でもまず宿題をしてから遊ぶ習慣ができました。今年度は夏休みも延長になり、自粛期間も長かったですが、それでも充実した学校生活が送れたのは先生方のおかげです。ありがとうございました。	

ご意見	学校側の回答
➤学校へ来ていただく機会を減らしたり、制限をしたりするしかコロナ感染からみなさんを守る方法がみつけれませんでした。本当に申し訳ありませんでした。そのため、今年度最後となる3学期の授業参観はZoom配信させていただきました。撮影スタッフの確保は大変でした。当分の間は、試行錯誤を繰り返し、コロナ感染の状況を慎重に見極めながら、学校公開の設定を考えていきたいと思います。お子様方の様子を直接見ていただけなくなった分は、通信やHPを使って、これからも学校、学年、学級の様子をお伝えしていきたいと思います。	

【^き聴^あき^{かた}あ^あい^あ・^{かた}語^あり^あ合^あう^あ授^あ業^あが^あで^あき^ある^あ学^あ校^あづ^あく^あり^あ】^き聴^あき^{かた}あ^あい^あ・^{かた}語^あり^あ合^あう^あ授^あ業^あの^あ展^あ開^あ⑨～⑪
^{たし}確^あかな^あ学^あ力^あの^あ育^あ成^あ⑫～⑮

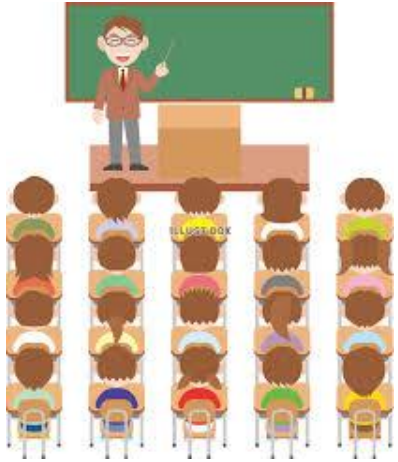
ご意見	学校側の回答
⑨学習についてですが、今年度に限らずペア学習でのペアの話し合いの時間が割と多くて、授業が進まない、進みが遅いのでは？と気になりました。高学年になり、学習も大変になってきているので、もう少し漢字の小テストを頻繁にしてもらい、児童の理解度を確かめてもらえると助かります。	「聴き合い・語り合う授業」と「確かな学力」はお子様 ^が 学 ^び に ^向 き ^合 う ^た め ^の の ^両 輪 ^だ と ^考 え ^て い ^ま す。コ ^ロ ナ ^禍 と ^な っ ^て 、学 ^校 が ^閉 鎖 ^さ れ ^た こ ^と も ^あ っ ^て 、「確 ^{かな} な ^学 力 [」] と ^言 わ ^れ る ^部 分 ^が 重 ^視 さ ^れ 、ペ ^ア 学 ^習 は ^や る ^な ら ^短 時 ^間 ・マ ^{スク} 着 ^用 、で ^き た ^ら や ^ら な ^い と ^指 示 ^を 受 ^け て ^い ま ^す 。そ ^れ で ^も 、I ^C T ^を 活 ^用 し、 ^両 輪 ^と 言 ^え る ^よ う ^な 授 ^業 づ ^く り ^を 追 ^求 し ^て い ^ま す。
⑨授業中の、プリントなどを含めた学習の理解度について、理解できていない子どもたちに対するフォローは先生からされているようであるが、充分理解していて時間を持て余しているような子どもたちに対するフォローが少ないように思う。そういう子ども達からすると「授業はつまらない」という感想が出てきてしまう。教え合う思いやりや仲間意識という概念からすると決して無駄なことではなく必要なことでもあるが、それだけに甘えるのではなく、やはり学習に対するモチベーションを上げるような取り組みをしてもらいたい。そういう意味では『一人一人の違いを受け止めた支援』としては不十分だと思う。ちなみに子どもからは、授業でチャレンジ問題として+αとしてプリントをもらったのは一度だけだと聞いた。	浜田小学校は教える側の子と教えられる側の子という関係ではなく、互いに語り合える関係づくりを目指しています。そのために、語り合えるような内容がある課題づくりが大切と考えて、校内研修を進めています。また、一人一人の学力向上・学ぶことの意欲向上を目指し、どんどんやりたいという子どもたちの欲求にも応えつつ、「語り合える関係づくり＝仲間づくり」を進めていかなければならないと考えています。+αの部分については、学年で協力をして準備し、必要な時にいつでも使えるように考えていきます。
⑨授業で子ども達が子ども達を教える場面を作る。もう既にされているかもしれませんが、コロナ禍で難しいと思いますが、理解している子ども達がまだ理解できてない子ども達に教えることが出来たら、コミュニケーションにもなり、お互いに楽しく学べるかなと思いました。	できたと思っていても、友だちに自分の考えを伝えてい ^る う ^ち に、も ^っ と ^違 う ^考 え ^方 も ^あ る ^か も ^し れ ^な い、よ ^り 簡 ^単 で ^わ か ^り や ^す い ^考 え ^方 が ^あ る ^の で ^は な ^い か ^と 、自 ^分 の ^考 え ^方 や ^説 明 ^の 仕 ^方 を ^見 直 ^せ る ^と こ ^ろ に ^も 、学 ^び 合 ^う 価 ^値 が ^あ る ^と 、私 ^た ち ^も 考 ^え て ^い ま ^す 。
⑩1. お友達同士で問題を出しあったりする。2. グループディスカッションの時間を増やす。3. DVDなどの活用など。既にされていることもあるかと思います。	そうした形での学び合いもあると思います。特に問題づくりという方法は、上記のご意見にあった+αに代わる学習方法で、子どもは問題を出すことが大好きです。
⑫子どもはわからない時に質問しないことを心配している。 	「きく」という言葉には3つの漢字が当てられます。「聞く」は音として聞くこと、「聴く」は友だちの意見に心を傾けて聴きとる（理解しながら考えて聴く）こと、「訊く」は尋ねる意味での訊くことです。ご心配事に応えられる授業づくり＝仲間づくりを進めることで、わからないが言える授業づくりを目指しています。
⑮学習についてですが、我が子は漢字の学習や文章を書くという事がとても苦手意識があり自ら進んでやってくれず、困っています。字を丁寧に書く、書き順にも、全く興味がありません。そんな時、担任からのサポートが欲しいと思ってしまいます。	家庭学習に自ら取り組もうという意欲が持てる力をつけていく必要があります。学校ができることは、学校でもしっかり取り組ませることで、「できる」「できた」が家庭学習への意欲に結びつくよう指導をしていくことだと考えています。
⑮算数の授業の進みが早く、少しついていけないと感じています。公文や塾には通っていません。予習のような形で、家で親と先取りして教科書を読むなどした方がいのでしょうか？	小学校の間は、復習を中心にした家庭学習に取り組めるようご協力いただけると有難いです。前もって予習をしておくことは悪くはありませんが、全ての子が意欲的になれるかという、そうではない場合も多いです。

ご意見	学校側の回答
⑮読書の時間、計算の時間など朝の会ですと良いと思います	私たちもそう思っています。朝の学習時間を朝の会と区別して確保しています。曜日で朝の学習や読書に取り組む日を決めています。今年度は、水曜日を朝の読書の日と決めて取り組んできました。
⑮朝の学習時間を有効活用して欲しい。10分間読書や簡単な計算など。	

【学習・生活の支援ができる学校づくり】（特別支援教育の推進⑮～⑲）（学習環境の整備⑳～㉓）
（生活習慣の育成㉔～㉙）

ご意見	学校側の回答
⑮先日の授業参観で気になった事があるので記載させていただきました。国語の授業で先生の言っているページを開かずに、授業に参加していない子も見かけました。彼らの授業に参加するモチベーションを上げるきっかけがあればいいなあと思いました。例えば絵を描く子が好きな子がいれば、(安易な考え方ですが)漫画家になるには言語力も必要だと教えたり、作品を作るのには、文章を読んで想像力を養うことが大切などと伝えたりして、学ぶ事で将来の選択肢が増えて自分のやりたいことに近づく事、学ぶ事で人生が豊かに楽しくなることを知って欲しい。そんな学ぶ事が楽しい学校になって欲しいです。(とは言うものの、これは個人的な理想であり、各生徒の個性に向き合い長所を伸ばす授業というのは先生方大変さもあるので難しいとは思いますが)	いえいえ、ご意見の通りです。こうした思いでくださる保護者の方がみえることを子どもたちが知ること、特に高学年は自分を見つめ直して欲しいし、そうした自己を振り返ることができる力を身に付けて欲しいです。 
学習・生活の支援ができる学校（どの番号にも当たらないため、番号はありません。） ・いつも、子ども達が楽しく学校に通って有り難く思っています。学校には沢山の先生方がいます。息子は、一年生の時の先生が大好きでした。でも、今は話をする機会も触れ合える時間も無いです。担任の先生が変わっても、前の先生との触れ合える時間があつたりしたら楽しいので違う学年の先生がたまに、授業してくれるなど、あると楽しいかもしれません。	なるほど、これも一つの取り組み方法ですね。特に、低学年ではあってもいいかと思います。ただ、どこかでは新しく受け持ってもらった先生のことも、大好きになってくれると嬉しいです。平等にはなりますが、補欠授業の機会に配慮できるならそうした先生方を組むことは考えられます。 
⑳タブレットに関する意見多数	学校だよりNo.48で回答済みです。
⑳生活科（観察）：観察する際、タブレットで写真撮って、教室で絵を描いていました。なぜ実物をみながら絵を描かないのでしょうか？ 算数（かけ算）：タブレットで計算問題をとき、一人ずつ回答していました。せっかくタブレットを使うなら、タブレットで答え合わせをしたらいいと思います。一人ずつ答えるのであれば、フラッシュカードなどを用いた方が、楽しめると思います。また、ただ教科書の絵を数えさせるだけでなく、実物を見せ数える、具体物（ブロックやおはじき）を操作する、など、楽しく学習できるように、工夫できると思います。 子ども時代には、実体験がとても大切だと思います。	全ての観察や算数の授業がタブレットに代わっているわけではありません。また、算数のところでいただいているご意見は、その通りだなあと考えますし、観察する時にタブレットを活用した時には、その写真を使って話し合いを進めるなどの活用の方が、ご理解いただきやすかったのではないかと考えます。 授業参観の時には、保護者の方にタブレットをこんなふうに使っていますという紹介の意味合いも考えて授業を公開している先生もみえます。その点ご理解いただくと助かります。先生もまだ「まずは使ってみよう。」という段階なのです。（学級だよりNo.48では、このご意見に対して回答をさせてもらっていませんでした。申し訳ありません。）
㉑図書室の本を増やしてほしいです。学校で借りた本は、読んでいます。	P T A、社会福祉協議会、青少年を守る会などからも、この3年間補助をいただき、学校の図書購入予算の2倍ほどに当たる補助金で、たくさん本を購入させていただきました。ありがとうございました。また、これからも図書室整備にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。
㉑いつでも行ける図書館	

ご意見	学校側の回答
②宿題をわが子と一緒にやっていて、なんでこの宿題をするのか、宿題への向き合い方が、この時期になって、なあなあになっている気がします。うちだけならいいのですが、なぜなのか、私も伝えていますが、先生のフォローも必要だと思います。物事的前提になる事を、説明していただけると、わが子はしっくりくるかなあと思います。一家庭の意見です。よろしくお願いします。	このように気づかれることがありましたら、随時担任に伝えてください。先生からのフォローはもちろですが、宿題の出し方の工夫も必要になってくると思います。ご協力いただくと、大変助かります。 
②生活面で少し過保護かな？と思う相談にも先生方が迅速に対処して頂けて本当に感謝しています。学力に関しては、子どもが今どのくらい出来ていて平均値以上なのか以下なのかは親から見て分かるリストなどが配布されると家庭での学力指導に活かせるかと考えています。 	リストの配付はできません。リストにあたる情報は、みえスタディチェックやC R T検査、学力・学習状況調査の結果が出る時に公表されます。個人的に問われた時には、担任から個人の習熟度についてはお伝えすることはできます。平均点もお伝えすることは可能です。ただし、毎回毎回テストのたびに情報を公開するとなると、その対応は厳しいかと思います。詳しくは、個別懇談会などの機会に事前にこういう話が聞きたいとお伝えいただくと、ある程度は担任も準備できます。学校での評価は個人を評価する「絶対評価」になっていることはご理解ください。
②家庭で、宿題、時間割等声掛けはしていますが、なかなかできません。	担任からも声をかけていきます。保護者の方のお力もお貸しください。
②自主勉強で取り組めればよいのですが、英語の宿題も時々出して頂けるとありがたいです。長期休みの時にもあるといいなと思います。	高学年の自主学習には、タブレットドリルがあります。高学年の場合、英語も入っていますので、それをご利用いただくのも方法です。
②以前にも学年のプリントで内容が載っていたのですが、自主学習をいつも同じ科目をしているので、他の子がどんな自主学習をしているかプリントなどでまた知れたら、子どもと話をして他の科目もできたらもっと勉強が楽しくなるかなと思います。	中・高学年では定期的に自主学習のノートをコピーして、学級だよりや教室掲示等で紹介をして、自主学習が広がるように工夫しています。
②いつも、よりよい学校であるよう、働きかけてくださりありがとうございます。以前、先生が学習などを家でもフォローをして欲しい、と言われました。「学ぶことが楽しい学校」であるならば、家でフォローしなくてもできるのではないのでしょうか。家で親と嫌いな勉強を嫌々していても、なかなか進まないものです。 	10年程前までの教科書には、算数などは習熟するための内容が多く入っていて、授業中にそれに取り組むことができていました。前回と今回の学習指導要領の改定により、知識・理解から表現・思考力に重きが置かれるようになって、教科書から練習問題的な内容が減らされてしまいました。そのため、基礎的な計算などは、家庭学習で身に付けていくことが求められています。もちろん、我々教職員は学校で学べば大丈夫と言えることを目標にしていますが、家庭学習抜きでは学力保障が十分にはできないとも思っています。
③感染対策で先生方には大変ご苦労されていることと存じます。しかしながら、現在三重県でのコロナ感染者が0の日が続くようになってきました。次から次へと新しい株が発見され、心配もあるかと思いますが、入学してから毎日マスク生活で、これがいつまで続くのか心配しております。お友だちの顔がわからず、表情も読み取りにくい、また黙食を続けていく中で、別の大切なことを犠牲にしているように思います。我が子は学童にも行かせており、ほぼ一日中マスクをつけての生活ですので、酸素不足による影響がないのかとか、真夏もマスク生活を余儀なくされていたこともあり、健康面においても危惧しております。みんながマスクをしている世の中ではありますので、もちろん同調圧力や色んな意見があるかとは思いますが、感染者がいない期間であってもマスクをつけ続ける意味はあるのか？状況に応じてマスクを外す生活も大切なのではないかと考えております。しかしながら、はっきりとマスクを外してもよいと示していただかないと、とりあえず、何となく、つけていないといけないという空気が存在し、子どもたちもどうしたらいいのか混乱すると思いますので、そういった点も考えて、このままマスクを子どもたちにつけさせる生活を続けていくのか、感染者の数に応じて、マスクを外していくのか示していただきたいです。子どもたちはまだ自分ではなかなか判断できず、大人たちの言うことを素直に聞いてくれます。子どもは重症化していない現状で、長期間マスク着用を強制してよいものなのか。自分自身もマスクをつけ続けていると、苦しくなって頭痛がするので、子どもたちの健康や脳への影響も心配です。できればマスクを外してコミュニケーションを取って、呼吸も十分にさせてあげたいと思い、意見させていただきました。	

ご意見	学校側の回答
➤学校にはいろいろな家庭環境のお子さんが通っています。その一軒一軒に合わせて個別に感染拡大予防対策を学校側がたてることはできません。ですから、マスク着用についても強制ではありません。あくまで依頼・お願いなのです。そうは言っても、同調圧力があることも事実です。その圧力を最も強く感じて働いているのが学校教職員です。三重県で最初にこの新型コロナウイルスに感染した教職員は、感染前の数日間の動きまでもマスクからの攻撃対象になり、全てのプライバシーが世間にさらされることになってしまいました。以来、私たち教職員が感染をして、校内でお子様に感染させるようなことがあってはならないという考え方が当たり前となって、この2年間は教職員間の親睦の場を持つこともできなくなっています。マスク着用もしかりです。だからこそ、いただいたご意見は痛いほど響いています。でもできないのです。感染者が「0」という日々が何日か続いていた時でも、「終息ではない。次の第6波は必ずやってくる。この新型コロナウイルスの性質上、それは新しい株が出てきて広がる。」そう言われている中、感染者数に応じて「マスクを外してよい。」とは言えません。登下校などの時にはウレタンマスクでもよい、運動中は外してもよい、と言う事が精一杯でした。そして、年が明けてからのこのオミクロン株感染拡大です。きょうだいに受験生がいるので念のため休んでいる子がいます。自分の受験のために休んでいる子もいます。同居家族に高齢者の方や持病を持ってみえる方がみえるご家庭もあります。どれだけ気を付けていても、陽性となってしまった子もいます。家庭内感染で、一人ずつ感染が広がっているため、感染拡大予防のためなかなか登校できない子もいます。保護者の方にも長く仕事を休んでご協力いただいている方もみえます。いただいたご意見はもっともなご意見だと思います。ですから、そう指導できない歯がゆさをご理解くださいとは言いません。しかし、公立の学校の置かれている立場、我々教職員の立場、そして感染後の後遺症に苦しんでいる方がみえること、新型コロナウイルスに感染することが命にかかわるといえる方がみえること、そういう中で判断をしなければならないということは、お伝えします。	
②③全学年の3クラス化	
②一学級の人数が多いのが気になっています。先生の負担も多く、一人一人の子どもたちに目が届かないこともあるでしょうし、改善できるのならば、お願いしたいと思います。	
②③1クラスあたりの人数が多すぎると思います。一年生は特に大切な時期で、躓くと後に響きます。一年生にはもう一人二人先生がついていただいても、良いのではないのでしょうか。特にマスクをされての授業は聞き取りにくく、騒がしさもあって、思っておられる以上に授業がわかりにくいです。 	ご要望の意図は違いますが、特に次年度の5年生については、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、3クラスにしたいという要望は出しております。しかし、先日も報道されていましてように、全国では3,000人の教職員が足りないと言われ、常勤講師の方もみつからないと言われている今の状況では、常勤の加配があるとは思えません。そうすると、今年と同じように専科には常勤の先生がいらない＝担任ができる人に余剰がない、もし専科で常勤講師の配置があったとしても独自学級を作れば余力がなくなり、担任が病気になれば、かわりに授業に入れる先生がいらない、そんな状態になります。新5年生を3クラスにするための加配配置は難しい情勢です。少人数加配の非常勤の教員を活用し、新5年生を優先して、少人数授業ができる体制を国語・算数で継続したいと考えています。なお、他学年は1クラス30人以下の人数を予定していますので、それをさらに細分化することは計画にありません。国が今年度やっと2年生以下の学級定数を40人から35人に減らしたばかりで、三重県では、その一つ上にあたる3年生にのみ「みえ加配」をつけて、同じく35人以下学級にしている状況です。新4年生が3クラスになるかは、現段階でも未定となっています。
学習環境整備 こんな学習をしたらどうか。 ・子ども達が先生になり、ミニ授業をしてみる。 ・小学校から少しでもいいので、マナーリテラシーが身につく授業を取り入れて欲しい。学んでおけば将来楽しい時間が増えると思います。 ・お金の勉強を取り入れてほしい。小学生からマナーリテラシーを少しずつ身につけてもらって、貯めたり増やしたり上手に使う事を知ってほしい。 ・自分自身の思い出として、おそらく今の『生活』に当たる時間にクラスで“お楽しみ会☆”みたいな物があって、ゲーム(ハンカチ落としや椅子とりゲーム etc...)とかをして楽しんだ思い出があるので、たまにそういう時間があっても楽しいのかなあとは思っています。☆ミニゲーム集会と似ていますが。 ・(もう既に実施している学年もあるかもしれませんが)教科の枠を越えて、児童が好きなことや興味を持っていること(例:昆虫、電車など)を自由に調べて発表する授業などがあると面白いなと思いました。 ・現状のままでなく、常に新しい事を取り入れて欲しいです。興味を持つお子さんが増えると思います。 ・体験学習を多くしてほしいです。 ・自由研究的なテーマを授業の中に取り入れて個々の興味や関心の深掘りと追求、発展に尽力を尽くしてほしいと思う。	

ご意見	学校側の回答
・授業で今のニュースなどの、意見交換会などを積極的に取り入れて欲しいです。 ・書籍やメディアで話題の愛称ぬまっち先生（東京学芸大学附属世田谷小・沼田教諭）は児童のやる気や自主性を引き出す斬新でユニークな授業、クラス運営をしています。 ・（すでに、されていたらすみません）週一回、時事問題を通して自分の意見を述べるディベートの機会を設けるのはどうでしょうか？この先、自分の意見を持つ、それを発言できることがとても大切になると思います。例えば、10万円給付が問題として騒がれているのであれば、さて、どう思うか？当事者の自分たちがもらえる？それに税金が使われているが？など、その学年レベルでよいので時事話をみんなで話し合ってみる。正解不正解を出すのではなく、時事問題に興味を持ち、自分の考えを持って発言できるようになれば、何かと自信にもなると思います。わかる自信＝学びが楽しいになると私は思います。高学年なら自主勉強の課題に入れてもよいですね。 ・頭と身体を同時に使うゲームとか。 ・コロナ禍ではまだまだ難しい事もあると思いますが 動物との触れ合いだったり 科学実験をされる講師の方の講義とかを聞けたりすると子どもは楽しく興味がわくと思います！ ➤こうしたご意見があったことを、全職員で確認をしました。今のコロナ感染拡大時期には取り組みづらい内容もありますので、その点はご了解ください。次年度の教育課程に組み込むことができる学年があるかもしれません。また、子どもたちにとっては自主学習のヒントとなるようなご意見もいただいていますので、子どもたちにもこうしたことを考えるのも自主勉強になるという事を伝えていきたいと思います。	
㊤マラソンで、歩いたらダメだよ、ちゃんと走って、と言われた事で、わが子はマラソン参加に不安を持つようになりました。苦しかったら歩いてもいいから、頑張ろうという声かけであればと、残念に思いました。呼吸が苦しくて走れないのに、小さい子どもはそう言われたら、逃げ場がなくなります。勉強でもできない子になん  でできないのとは言わないはず。多様性を認める教育を望みます。	歩かなくてもよいようにと、朝のかけ足5分間走や授業での持久走では、ペース走を取り入れています。その指導の中で無理のない自分の速さを見つけながら取り組んでいます。「苦しかったら歩いてもいい。」という見極めは、小さい学年の子には難しいと思います。持久走は同じリズムで長く同じ運動を続けることが目標と定められていて、低中高で走る距離を調整しています。「歩かない」ということにこだわったことで、今までにはない満足感・達成感を持つことができた子も大勢います。それでも、ご意見のようにお子様が感じられたことは事実ですので、こうしたことに気づかれた時には、その時々担任と相談をしてください。
㊤サッカーが出来ると良い（子どもの意見です）	縄跳びの取り組みが終わり次第、昨年度子どもたちの意見から購入したサッカーゴールを使って、休み時間にミニゲームができるようにしていきたいと考えています。
㊤いつも、大変お世話になっています。今年度は、夏に夏野菜の種を購入するところから、野菜を育てるという体験が出来て勉強になりました。スーパーへ行っても、この野菜は誰が育てているのかなとか、これは、どんな風に育つのかな？など、野菜に興味を示してくれました。お礼を伝える場所がない為、この場を借りて校長先生はじめ、先生方のお陰で良い経験が出来たと思います。	栽培活動を実際にやって、野菜作りに興味を持ってもらったり、野菜を食べることができるようになったりしてもらえると嬉しいです。先日も2年生が大根を収穫した次の日に「校長先生、大根を育ててくれてありがとう。大きな大根だったよ。みんなでわけて、僕は家でお味噌汁にいれてもらったよ。おいしかったよ。」とお礼の言葉をくれる子がいました。私自身が野菜作りを子どもたちと一緒にすることで、心にうるおいをいただいています。私こそ「みなさん、ありがとう。」なのです。
㊤部活時間が少ないのが残念です。4～6年の異学年で活動する時間は、いろんな意味で学びになります。	部活動（月曜日7限目のクラブ活動）を、これ以上増やすことはなかなか難しいです。ただ、異学年の交流やつながりを持つことは大切だと考えています。今年度も方法としては感染拡大予防の為縮小はしましたが、遠足をはじめ、縄跳びチャレンジ、草取り活動、ミニゲーム集会などは、きょうだい学年を基本に取り組んできました。「よくできるね?!」と外部からは言われることもあります。しかし、「感染拡大予防を徹底しているから。子どもたちもしっかりと考えてくれているから。」と応えています。何よりやらせてあげたいという係の教職員の声もあって、全教職員でサポートしています。子どもたちも一生懸命準備と運営をしてくれるので、そうした姿を見るだけでも縦のつながりになっていると、考えています。また、中学生と6年生の交流は年に2回行っています。引き続きコロナ禍であっても、縦割り班活動は大切にしていきたいと思っています。
㊤今はコロナで難しいと思うのですが、もう少し他学年と交流する機会があっても良いのかなと思います。	
㊤現在の状況下では難しいと思いますが、学年の枠を越えての交流する機会がなお増えると良いかと思っています。子ども自身、上級生や下級生に関して、登校時によく話すお子さんの名前くらいしか知らないのです。	
㊤異なる学年との交流は、貴重な機会だと思いますので継続いただけたらと思います。中学校との交流も、素晴らしいと思います。体験やクラスメイトとの意見交換等に重きを置いたワーク（答えがないことをどう考えるかや、様々な立場/多様性をどう受容していくか等）がこれからの生きていく力に重要なのではないかと思います。	

【安全で安心できる学校】（子ども・保護者の困り感に寄り添う③③①）

（教職員にとっても働きやすい学校③③③）（安全に対する意識の向上③④～③⑧）

ご意見	学校側の回答
③③わが子の性格を理解し接して頂けている事を感謝しています。本人も先生に対してリスペクトの気持ちが芽生えていると思います。ありがとうございます。	
③③担任の先生がいつも優しく丁寧に接して下さって、学校に行くのが楽しいと家庭で学校であった出来事や勉強したことを話してくれています。	
③③いつもお世話になっております。○年生で初めての男性の担任の先生となり、わが子は緊張していたようですがとても良くして頂いているようで感謝しています。	
③③いつもお世話になっています。息子はのびのびと楽しく学生生活を送っています。環境を作っていただいている先生方、地域の方々に感謝します。	
③③学習面だけでなくいろいろな経験をさせていただいています、ありがとうございます。担任の先生もとても優しく穏やかで信頼しております。細やかに子ども達に気を配って見守ってくれていることがよくわかります。1年生ですからいろいろありますが楽しく学校に行っているようです。運動会や持久走ではちゃんと勝ち負けや順位もあるので悔しい気持ちやつぎはもっと頑張ろうという気持ちも育ててくれたと感じます。今は順位もつけない学校も多いようですが順位をつける教育方針で強い気持ちが育っています、ありがとうございます。 ➤こういうご意見を頂けると、本当に教職員は元気になります。順位をつけることについては、それが子どもたちのためになるのか、指導方法としてそれが正しいことなのか、毎年検討をしています。こういうお気持ちをお持ちの保護者様が見えることも考えた上で、教職員全員で、安全で安心できる学校づくりを進めていきます。	
③③いつも、ありがとうございます！2年から学校をだんだんと楽しめるようになり、○年の今、楽しく通い、学んでいる様子に嬉しく思います。1年生のとき、幼稚園との暮らしの変化に戸惑っていました。学校という新しい環境、決まりごとの中での暮らし、戸惑いはどの子にもあるのかなと思います。まっさらな状態で始まる1年生の生活。知らないことが多いと思います。まだ、幼さもあるでしょう。知らないことを、自分なりにしようとして、大人では考えられない間違いをするかもしれません。1年生のとき、手洗いで雑巾を洗っている子を見かけました。先生が、やって来て「何をやっているのですか！こぼしたお茶を拭いただけで、石鹸で洗う必要は無いです。みんな、あなたを待っているのですよ！」と。他にも。何度かそんな心がキュッとなるやり取りを見かけました。お忙しい中、大勢の子どもと過ごしながら、授業や下校を時間通りに進めるのは大変なことだと思います。学習面に力を入れていただいているのも十分に理解できましたし感謝しています。2年生・3年生と友だち関係が広がり深まると、学校生活をより楽しめているなど息子を見ていて思いましたが、1年生のうちは特に担任の先生は絶対的な存在なのだなと、感じました。日々のやりとりの中で、子どもの意欲をポキンとおってしまうようなやり取りにならないよう、意欲を救い上げるようなやり取りを大切にさせていただくよう、特に1年生の担任をされる先生にはお願いをしたいと思います。 ➤お子様の成長をしっかりと見守ってくださっていること、本当に頭が下がる思いです。それだけに、1年生の時の経験が何度かあったということには、私の胸もキュッとなりました。この先生は正しい事を声掛けしているとは思いますが、一生懸命に雑巾を洗ってくれている子を見かければ、「ありがとう。」が先であったと思います。私自身ひょっとしたら頑張っているお子さんの姿を見逃して、話をしたり、注意をしたりしていることがあるかもしれません。子どもたちの一生懸命さに気づき、気遣いと心配りができる教職員になりたいと思います。	
③③先生方の働き方改革には大賛成です。いつも朝早くから長い時間子どもたちのためにお仕事をしていただいている感謝しかありません。子どもたちが楽しく過ごすためには先生方も楽しんでいただくことが大切だと思います。先生方が対人業務に専念できるような環境が整うことを切に願います。杞憂かもしれませんが、おたよりが多くて、先生方は大変ではないかと感じています。親の方も準備物や行事内容がどこに書いてあったのか分からず何枚か見直すこともあります。おたりの発行頻度はもっと低くても大丈夫ですし、学級だよりがあるなら学年だよりは必要ないのかな、と思います。	特に小学校の教員は、朝早くから出勤をする者が多く、浜田小学校でも計画している通りに、早く帰ることはできていません。その要因の一つが、おたよりを発行することというご意見ですが、私の経験からは、おたよりをしっかりと出すことで、子どもたちの良い事も考え直して欲しい事も書くことができて、保護者の皆様方から信頼され、何か困ったことがあっても助けていただき、何度も大きな課題を乗り越えることができたと思っています。なお、学年だよりと学級だよりはその内容に大きな違いがありますので、どちらかをやめるということではできないと考えています。学年だよりについては、なるべく担任が書かなくてよいようにしています。
③③校長先生をはじめ、先生方におかれましては、日々、子どもたちのためにご尽力下さいましてありがとうございます。コロナ禍での教育活動は、先生方にとっても、子どもたちにとっても、窮屈な思いと背中合わせなことと存じます。それでも、そのときできることを柔軟に考え、変化する状況にアンテナを高くもって動いて頂き、ありがたい限りです。これからもどうぞ、よろしく願いいたします。	
③③コロナ対策に力を入れていただきありがとうございます。そして感染予防でいろいろ制約があり大変な中、できる限りのことをしていただいている先生方に感謝いたします。	

ご意見	学校側の回答
③④コロナで先生も大変な中、運動会やその他の行事を無事行っていただきありがとうございました。他校の話を聞くと、浜田小は特に感染対策も徹底しており、安心して子どもを通わせることができています。	
③④コロナが落ち着かない中、日々色々準備していただいております。運動会やその他の行事でも保護者の方がルールを守らない姿が見られて残念です。先生方が強く言うというのは難しいと思いますので、参加が一人と決められているのなら整理券を各家庭一枚ずつ配布する。整理券を持ってなければ入場できないなど、強い措置も必要と感じます。本来ならば保護者がルールを守るという姿を見せる必要がありますが、残念ながら「ご協力を」だけでは通用しなくなっているのです。	
③④今年の運動会の運営が少し厳しすぎるなと思いました。緊急事態宣言が出ている状況なら、わかりますが、子ども達もマスクをしながら、50メートル走を走ったり、参観できる人数も1人だったり、今年は学年ごとなのでそれほど人数でもないのです、そこまではする必要はなかったのではないかと思います。	
③④自然教室について、宿泊は叶いませんでしたが、登山という貴重な体験をさせて頂いてありがとうございました。しかし、説明会で宿泊出来ない理由を校長先生が述べられていましたが、去年も同様な状況でありながら宿泊有だったので、子ども達は非常に残念がっていました。	
③④いろいろ制限がある中でも、修学旅行・運動会・社会見学など様々な行事をして頂き本当にありがとうございました。	
③④今年度も新型コロナウイルスの感染予防を考えながらの学校生活となりましたが、そんな制限ある中でも、できる限りのことをしてくださって感謝しております。子どもも、学校生活を楽しみ、その中で自信をつけながら、前向きにがんばっているようで、親としてもとてもうれしいです。	
③④コロナでいろいろな制約がある中でも、学校行事を工夫して行っただき、ありがとうございます。	
③④コロナ禍の中、大きな行事も工夫して開催して頂き、本当に感謝します。	
③④コロナ禍であっても、校長先生をはじめ先生方のお力により、子ども達の為にと行事、参観など行っていることに感謝しております。子どもから学校の話聞くよりも実際に学校の様子を見ることで納得する事もあり、いつも安心しております。今の子ども達は大人の言動を良く見ていると思います。私もですが、子どもではなくひとりの人間として接することで分かり合える事があります。六年生で多感な時期で大変だとは思いますが、先生方には子ども達を大きく見守って頂きたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。	
③④2学期の修学旅行 運動会 社会見学を楽しく子どもが過ごさせて頂けたのも、担任の先生やいつも子ども達に付き添い見守っていただいている校長のおかげと、心より感謝しております。ありがとうございます。	
➤新型コロナウイルス感染拡大予防のために、刻々と変化をする感染状況に合わせて、また市教委からの指示も受けて、今まで当たり前のように行っていたこと全てを見直し、感染拡大期になるとまた見直し、どのように行っても様々な角度からご意見をいただき、この2年間毎日のように判断を迫られてきました。運動会や自然教室を実施した時には、確かに感染が収束に向かっていていると感じるほどの状況でした。しかし、運動会や自然教室の計画は2カ月、3カ月前には実施形態を判断しなければなりません。感染者数がどれだけになったら保護者様2名までは大丈夫と判断をする基準もありません。全ての学校が敷地の広さも風通しも、児童・保護者様の数も、活動内容も違うため、最後は各学校長判断となります。そうは言っても、2学期の自然教室は「宿泊は認めない。」と早くから市教委から指示が出され、校長判断を挟む余地はありませんでした。運動会も無観客でやるという小学校が市内である中で、浜田小の運動場は狭いけど、浜田公園をうまく使わせてもらえば、待機場所も作れるし、HPにアップすることで、見学に来ていただけなかった方にも運動会の雰囲気は伝えられる、そのような事も考えての実施方法だったのです。運動会で無理をして校内感染のきっかけを作れば、自然教室が中止となる時期でもあったのです。後から振り返れば、もっとこうできたのではないかと私自身も考え悩んでいます。どうかお許しください。	
③④校長先生にもお礼申し上げます。ずっと長女から聞いて、憧れていた「校長先生のスイカ」を次女は今年みんなで食べることができて、すごく嬉しかったみたいです。コロナ禍で、学校も様々な変化を強いられるなか、すぐメールで丁寧なコミュニケーションを取ってくださったことにもお礼申し上げます。不安はありましたが、すぐメールで随時のご連絡を頂けたので、安心感がありました。本当に浜田小学校だったから、小林校長先生だったから、良かったなと思いました。今年度まで、ということで、非常に寂しく思いますが、校長先生からいただいた優しい気持ちや、がんばる気持ちは、娘にもしっかり伝わっていると思います。家庭でも引き続き、子どもたちを見守り、共に成長していけたらと思います。	
③④いつも大変お世話になっております。担任の先生をはじめ、各先生方はいつも子どもたちをよくみてくれていると思います。コロナ禍で大変な状況ですが、学校に楽しく通えていますので感謝しています。今後ともよろしくお願い申し上げます。	
➤重ね重ね、こちらこそいろいろな制約にご協力いただき、子どもたちの教育活動を、進めさせていただけたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございます。	
③④兄はあまり家庭科の調理実習ができなかったのですが、来年は安全に配慮しながら調理実習ができるようになって料理に興味を持ってもらえるといいなと思っています。	家庭科における調理実習は、感染者数が減ってきた時を見計らって確保してきました。今後も慎重に判断をしていきます。学年末によく行っていた学級のお楽しみ会での調理に許可を出すことは難しいと考えています。

ご意見	学校側の回答
③⑦通学路の横断歩道で車が止まらない。危険だと思います。警察がたまに見張ってくださると車も意識すると思います。信号がない横断歩道です。	不審者人物への対応も含めて、相当時間、子どもたちと向き合い、話し合い、時にはかなり厳しく声をかけてきましたが、まだまだ収まっていないことも事実だと思います。低学年の中には、どうしても危険な様子であると確認できた時には、その地域の地区委員さん・見守りにご協力いただいている方、該当児童の保護者様に連絡をして、行き帰りの見守りをお願いしています。
③⑦下校の様子を見てみると、ヒヤヒヤする事が多いです。(横断歩道で追いかっこや傘を振り回すなど)もう少し指導の機会があってもよいかなと思います	今は、スタート時点でも完全に地区ごとに集合することは止めています。学級単位くらいで同じ方向へ帰る子同士声をかけ合って帰ることにしています。遅れたクラスの子は、追いかけるながら(無理はさせていません)合流できれば良しとしています。下校時はどうしてもおしゃべりがしたくなるため、密をさけるため、今の所それしか方法がありません。学年初めの時には、揃って帰ることを原則に指導し直すことになると考えています。
③⑦下校時、学年が上がるにつれまとまって帰らないように思います。(帰り始めは一緒でも、途中でバラバラになる等)習い事や用事がある時は仕方ないにしても、みんな帰るという認識がそれぞれ違ってきているように感じます。一人で帰るのは危険で、親も心配するので、引き続きご指導して頂きたいです。	
③⑦通学路の安全確認	危険と思われる箇所がありましたら、まず地区委員さんと共に動いていただき、自治会長様とご相談ください。その上で、自治会長様はセンターへ、地区委員さんは学校へ連絡をください。

【^{ちいさ}^{かた}^{まな}^{がっこう}地域の方に学ぶ学校】(^{ちいさ}^{きょういくりょく}^{かつよう}地域の教育力の活用③⑨④④①)

ご意見	学校側の回答
③⑨卒業生で色々な分野で活躍されている方がみえたら、子供たちに話をしてもらえらる機会があればいいなと思います。	
③⑨外部からの出前授業	
③⑨外国人との交流を増やして欲しいです。今はコロナで難しいですかね。又、少し話は逸れるのですが、保健の授業として男女の違い、性のことを伝える機会を設けて頂けるとありがたいです。産婦人科の先生や助産師さん等の話を聞けるといいなと思います。性犯罪の怖さや十代の妊娠について大人の女性から小学生に伝える機会があればと思う。聞けるなら親も聞きたいです。	
③⑨コロナ禍の今は無理かもしれませんが、色々な国の色々な人種の人達と交流出来たらこれから生きていくのにプラスになる気がします。実際に話して触れる事は大事だと思います。	
③⑨可能であれば、キャリア教育として外部の方に話(仕事の内容や、必要な勉強など)を聞ける機会がたくさんあるといいなと思います。	
③⑨課外活動をもっと増やしていただきたいです。	
➤ここでご提案をいただいた内容については、教職員間でも共有し、次年度の活動計画の中で実施できることがないか、検討をしていきます。	
③⑨ボランティア活動や地域交流は、もっと増やして頂けるとありがたいです。(老人ホーム等への訪問など)	参考にさせていただきます。学校運営協議会委員の皆様にもお伝えし、相談していきます。
④④持久走記録会について。 保護者が観覧できる指定の場所が細かいと思います。むしろ、児童が走る場所はわかるのでそれ以外で自由に観覧できる方が重ならず、散らばって応援でき児童にも励みになるのではと思いました。今回、公園の細かい場所で(蜘蛛の巣遊具の近くやその前の木のそばなど)見守りの方の注意がありましたが、意味があるのかなあと感じてしまいました。何人か注意されていました。見守り必要でしょうか？それとも応援係なのでしょうか。無意味な仕事はない方がいいと思います。それをなくせば、赤ちゃんを連れてまで走る児童を見守る方はでなくてもよいのではと思いました。とても大変だろうなあと感じて。よろしく願いします。	PTA役員の皆様とも相談をして、見守りを依頼するかどうか検討します。今まで、PTAの皆様へ安全面の確保にご協力いただくことで、私たち教職員はお子様方の健康管理や走っている時の異常がないか、そして最後には正確な記録を残すことに集中して、取り組むことができました。記録会当日の仕事分担の仕方や保護者様の見学場所はどのあたりがよかったのか等、検討していきます。
④④私は今浜田子供謡訪太鼓保存会の役員をしています。ここ数年メンバーは一気に少なくなりました。最近ではクラブ活動も立ち上げて下さり感謝しています。習い事など色々理由はあると思いますが、せっかく浜田小学校には昔から伝統的に伝わる謡訪太鼓があるのでイベント時に経験者だけではなく、皆が謡訪太鼓の曲を何か1曲でも演奏出来るような練習や発表の機会があればと思います。もちろん、指導や補助などは行います。	



ご意見	学校側の回答
④⑩いつも、先生方にはお世話になっています。先月の御在所の自然教室では地域の方、ボランティアの保護者の方のお陰でとても良い経験が出来ました。ありがとうございました。 ➤ボランティア活動を積極的に進めよう、協力しようという方のご意見で、大変有難く思います。ボランティアの件については、学校運営協議会の議題にも上げ、どのように協力者を募るか等も、検討していきます。PTA活動も広く捉えればボランティア活動になります。学校運営協議会にPTA会長様、前PTA会長様が入っていただいているのは、その掛け橋的存在という役割を担っていただいているためです。	
④⑩学童との連携がもう少し取れているといいと思います。下校時刻に関する連絡や、休校、行事による代休など、保護者としては学校と学童は連携しているものかと思って油断していて連絡不足になっていたことがあります。もし可能なら、すぐメールなどに学童も入れて頂いたりするといいかと思います。	学童さんも原則はすぐメールに入ってもらっているとと思っていました。学童の指導員さんはいつでもすぐメールに入ってください。また毎月学年通信をお渡しし、各学年の下校時刻・行事などはお伝えしています。令和4年4月1日からは新しい通信システムに全員が移行します。その手続き方法などについては、学童さんにもお伝えします。

こどもアンケート記述の意見について

◇さらに「学ぶことが楽しい学校」になるためのアイデアを教えてください。

○みんなが ◎自分が ●先生が □授業に関すること ◇行事的なこと △その他で分類してみました。

昨年度、現6年生は「自分たちがやること」として9件、「先生たちがやること」として88件の意見を出していて、前後の学年と内容に大きな違いがあったことを取り上げて、お伝えしました。しかし、今年はその6年生が激変しています。この1年間に何ががあったのかは、6年生の子どもたち自身とその保護者様はお気づきだと思います。卒業をあと23日後に控えた今日も、まだまだめ事はあります。それでも、そのめ事に当事者であってもなくても、仲間として気遣う様子が、今の6年生の集団にはよく見られます。6年生としてやることはやり切る、いつも下級生の良き手本・目標となるべく、この子たちが頑張っている証が、ここに紹介をする子どもたちの意見です。そのことをお伝えしたくて、今年は上記の分類方法で、学年別にまとめて紹介することにしました。

【4年生】

- みんなが楽しくする。 ○いろんな人といっしょに楽しく学びたいです。
- 分からないことがあったら助け合うといいと思います。 ○共に助けあう。【2人】
- 浜田小学校のルールを守る。 ○みんなルールを守る。 ○ろう下を、走らない。
- ごみを集めることだと思います。【2人】 ○笑顔で生活する。
- みんなといっしょに取り組んでいく。 ○みんなで協力すること
- 話しているときは勝手に話をしないなどみんなが気を付けるようにする。
- クラスみんなで楽しくすごせるようにしたい。【2人】 ○1人1人頑張る。
- みんながきちんとルールを守って安全に学校生活ができるように授業のときは先生が。
- ◎発言する前にそれは正しいか考える。 ◎授業をちゃんと聞く。
- ◎できるだけみんなと仲良くする。 ◎友達と仲良くする。
- マンツーマン授業をする。 ●丁寧に授業を教える。 ●楽しく授業をする。
- 少人数の先生みたいにノートをたくさん書きやすくする先生を増やすことがいいと思います。
- 少人数指導の教え方が分かりにくいからそこを直してほしい。
- もっと勉強を分かりやすくすることだと思います。
- もっと分かりやすい授業をやったらいいいと思います。
- すぐにおこるとこをなおしてもらいたい。
- 先生はできるかもしれないけど、自分にはできないことがあるから、つよくいわないでください。
- 褒めて伸ばす。 ●先生がもっと優しくなったらいいと思います。【2人】
- もっといろんな実験をしたり、植物を育てたりしたい。
- いろんな人が発表し、わからないところがあれば、友達に聞く。
- 分からないことがあったら誰ひとりとばさず、聞いたり教えたりする。
- 読書の時間を増やす。 □もう少し、総合の時間を増やす。

4年生の意見からは、4年生なりに「学ぶことが楽しい学校」をどうとらえています。



- 6年生が先生になって、1年生に授業をする。 □職業体験をやってみる。(お店屋さんごっこ、何か作る)
□仲間の意見を認める。 □分かりやすく説明をして考えを伝え合う楽しく。 □説明をよく聞く。
□全員の考えを当て(て聞い)たらいいと思う。
□友達と一緒に勉強する機会を増やす。 □勉強を友達とする。 □協力して授業を進める。
□謎解きみたいなのをちょっと入れる。
□1年生に学校のことを紹介をしたらいいと思います。人と関わりが増えるから。
△学校の今までのルールをもう一回見直して、いるものはそれに足りない所を増やしたりする。
△これはいらないルールはないか考える。
△逆にやっぱりいらないって思ったらそのルールをなくす。〔何回も〕
△種の本を増やすこと。 △元気な学校
△コロナをなくす。
△廊下を走らない。 △すごしやすい学校
△間違っても、せめない。
△いじめや差別がない学校 △みんなで一緒に協力していじめや差別をしない学校。
△いじめがなくなった学校 △まずはやさしく対応していじめなどのない学校
△みんなで一緒に協力していじめや差別のない学校 △友達同士で助け合う学校
△差別しない。 △差別がない学校。 △男女差別をなくす。
△みんな違ってみんないい学校。 △一人一人が個性的で楽しい学校
△このままでいいと思う。
△学んだ分さいころでゴールしたら何かもらえるルール
△少しゲーム感覚にする。【2人】 △大人しか楽しめないことが多すぎる。
◇バザーをする。
- ルール、その中でも禁止ルールは校長先生も減らして
す。でも、この二年間でいくつかの禁止ルールがはつ
はなされていきました。ルールがなくなっても危険なことには
みなさんであれば、そしてそれまであった緩いルール
守っていれば、はつきりと「禁止」としなくてもよか
もありました。

【5年生】

- 分からないことが、あるときは班の人などと協力してする。
○伝え方　笑顔で分からない人に教える学校
○皆で楽しく学習をする。
- ◎自由にさせてほしい。　　　　　◎頑張る！　　　　　◎(^ω^)"
◎とにかく楽しむ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
◎学校が嫌だからわからない。　◎僕に聞かれても分かりません。
◎いっしょうけんめい頑張ったら、ご褒美がある。
◎友達と、隣の席になりたい。
- 校内で走っても怒らない事
- 例えが分かりやすく面白いものにする



- わかくさ図工と体育を無くして、読み書きと算数の時間にしたいです。
□授業に楽しい事をする。 □「楽しかった」と思えるような授業がいい。
△クラスを細かく分ける。 △教室なんかの管理を徹底すること。
△いじめが起きず、悪口の言うことのない、仲良しな学校

△いじめをしなくみんながみんな平等の学校生活を送りたい。
 △黒板を見やすくしてほしい。 △トイレを綺麗にしてほしい。
 △プールを広くしてほしい。 △プールを屋内プールにすること。【2人】
 △ブランコをさせてほしい。 △ブランコをつけてほしい。 △ブランコや遊具を増やしてほしい。
 △休み時間にサッカーをさせてほしい。 △1年に1回映画を見たい
 △いい成績をとった生徒には自由帳をあげる。
 ◇楽しい行事増やすことです。

【6年生】

- 協力をして楽しく過ごす学校生活
- みんなが協力できる学校 ○みんな協力しあう。
- 仲がいい子だけではなく、色々な子と関わる。
- 困っている人が居たら助ける。
- 出会った人はかならずあいさつをする。
- 休み時間から授業に変わるときのメリハリ
- みんなが安心して楽しめるクラスにできるようにする。
- ◎授業を集中して受ける。 ◎メリハリをつける。【2人】 ◎楽しむことは楽しむ。【2人】
- ◎勉強するときはちゃんと勉強する。【2人】 ◎決めたルールはちゃんと守る。
- ◎悩んでいる友達がいたら話を聞いてあげる！
- ◎友達になっていない人に挨拶やお話などをする。
- ◎友達が少なく寂しそうな子を積極的に誘って遊ぶ。
- 悩みを相談できる場を作る。
- 悩みを簡単に打ち明けられるような環境をつくる。
- 学校に来たくない友達がいたら学校に、来られやすい環境をつくる。
- 1回先生と1対1で話悩み事とかを聞きみんなで解決する。
- 叱るときは叱って、褒めるときは褒めてください。
- 走る人を注意してほしいです。
- それぞれが、教えあう。
- 授業の中でどんどん次の単元に行くんじゃなくて復習をちゃんとやる。
- 月に一度こどもが授業を行う日をつくってほしいです。なぜなら、より理解が深まると思うからです。
 (やるべきことは先生がきめる。)
- 班活動を増やしたい「コロナでもできる」
- タブレットに慣れるように、タブレットを使う授業を、増やす。
- タブレットを使っていろいろな教科のことをまとめたい。
- 人数が多いので分けて授業をしたいと思います。
- すべての授業にグングンコースとじっくりコースを分けたほうがいいと思う。
- 今学校でやっていることだけど、わからない人とわかる人で分かれて授業することはいいと思いました。
- 中学校と交流を深める。 □クラブをもっと増やしてほしい。 □クラブ、委員会を増やす。
- 学校の授業で野球をやりたい。 □持久走で、音楽をかける「奇跡」など
- 授業などでも、クイズなどを取り入れる。
- △遊ぶ・・・ △遊具を増やして遊ぶ人を増やす。 △遊具を増やして欲しい。
- △言葉だけではあまり簡単に打ち明けることができないと思う。
- △学校のトイレにドアをつけてほしい。【3人】
- △体育館のバスケットコートを開放する。😊
- △体育館の開放 △遊具をふやしてほしい。
- △校庭を広くする。
- △浜田公園も一緒に運動場にする。
- △学校でサッカーができるようにする。【3人】
- △給食をバイキング方式にする。
- △シャーペンを使ってもよいことにする。
- △学校の多目的室に入ってもいいこと。
- △2ヶ月に1回アンケートをする。
- ◇レクリエーションをする。【2人】
- ◇1時間レクの時間をとる。
- ◇一週間で一回はレクをして、楽しむ。
- ◇スポーツ集会を作る。

6年生の意見からは、今の6年生が学年で大切にしていることが、たくさん伝わってきます。あいさつ（心の計算）、メリハリ、やる時はやる・楽しむ時は楽しむ、悩んでいる友だちを一人にはしない、こうしたことが考えられ、大切にしているのが、今の6年生です。



実は、サッカーゴールは昨年度、一昨年度の子どもアンケートでも要望として出されていたので、これは何とかできることと思って、2セット購入してありました。貯留管工事や放課後・週休日の学校開放などもあって、なかなか出してあげることができませんでした。それでも、水曜日の放課後などに6年生の子がグラウンドに来て遊ぶ時、「サッカーゴール出していいですか。」と聞いてくれた時には、子どもたちだけで使うことを許可していました。片付けも言われなくてもきちんとしてくれる6年生だからです。縄跳びの取り組みが終わった時に、4年生以上の子が休み時間でも使えるようにと、先生方が使い方や場所のルールを作ってくれています。卒業式まであとわずかなので、4・5年生は週1回、6年生は週3回の割り当てで計画をしてもらっています。